



- ① 中庭は子どもたちの交流の場となっています。花壇や樹木が季節を演出します
- ② 校舎の内装には木材を多く使用し、^{ぬく}温もりのある空間となっています
- ③ 太陽光発電設備を設置し、平常時は普通教室6室分程度の照明電力に相当する電力をまかないます
- ④ 屋内運動場は2階を接続して校舎と行き来ができるようにし、災害時における地域住民の避難所としての機能を強化しました
- ⑤ 3月26日には完成式が行われ、多くの来賓や関係者が列席。児童が鼓笛演奏や作文を披露しました



一小的思い出を
重ねていきたい

落合 ^{ひな} 妃菜さん
(古河一小・6年)

これから、この体育館を行事や体育の授業で使うのがすごく楽しみです。そして、下級生に「一小平ライド」をバトンでつなぎながら、この校舎と体育館と共に、古河一小的の素晴らしい伝統を受け継ぎ、たくさんの思い出を重ねていきたいです。



古河第二小学校の 屋内運動場も完成

施設の老朽化により改修工事を進めていた古河第二小学校の屋内運動場が3月に完成しました。敷地を最大限活かすため、建物の形状に曲面を採用。色彩にも配慮し、アリーナの天井を白色にするなど、明るく開放感のある施設となりました。



▲学校行事や地域の学校開放等で活用される屋内運動場